

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人千草福祉会 児童発達支援ルートちぐさ		
○保護者評価実施期間	R7年12月23日		~ R8年1月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R7年12月23日		~ R8年1月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は構造化されており、仕切りの設置等により、子どもの特性に応じた環境調整や個別支援が行いやすい体制が整えられている。また、清潔で心地よい空間づくりが意識され、活動に応じた空間設定が実施されている。	空間を区分することで活動を分けて実施できるようにし、障害特性に応じた支援環境の調整を行っている。必要に応じて個別スペースの活用も可能としている。	荷物置き場の分かりやすさや、活動の様子共有のしやすさ、夏場の室温管理等については改善の余地があり、環境面の細かな調整を継続する必要がある。
2	職員間の情報共有の機会が日常的に確保されており、朝昼のミーティングや会議、面談等を通じて支援内容の共通理解が図られている。また支援計画作成においても多職種で検討が行われている。	支援前の打ち合わせや役割確認、支援後の振り返り、定期的な職員会議など、PDCAを意識した支援体制づくりが行われている。	記録業務の効率化や振り返り時間の確保に課題があり、業務負担軽減と質向上の両立が今後の改善点として挙げられる。
3	関係機関との連携体制が整備されており、保育所等訪問支援やモニタリングを通して支援状況の共有が行われている。また保護者との日常的な情報共有や相談支援も十分に実施されている。	交流会や相談会を実施し、保護者同士の情報交換や家族支援の機会を設けている。	地域との交流機会や保護者同士の交流機会はまだ限定的であり、地域に開かれた事業運営の視点からの取組強化が求められる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員研修の機会は確保されているものの、研修内容の共有や実践への活用の仕組みについては、さらに充実させる余地がある。	外部研修や法人内研修への参加は行われているが、日々の業務の中で学びをチーム全体に体系的に還元する機会が十分に確保できていないことが要因と考えられる。	研修後の共有の場の設定や、学びを支援実践に結び付ける振り返り機会を設けることで、職員全体の専門性向上と支援の質の均一化を図っていく。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ルートちくさ				公表日	2026年2月16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・お部屋を壁設置で分けたところ	・改善点:夏場の室温調整 ・着替えスペースをつくりたい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		・1人の児童に対して2人必要な場合	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・仕切りができたことにより、それぞれの障害特性に合わせた環境をある程度、整えられていると思う	・来所して荷物置く場所が分かりにくいのでは？	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0		・活動を分けて行えるようになって良かったが、様子の共有のしづらさもある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	・月1回の職員会議	・記録の時間短縮が永遠のテーマで、どう改善したら良いのが今は思いつきません。 ・私自身、日々の支援に追われてなかなか振り返りができていないので、それが今後の課題。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		・わからない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・朝と昼のミーティング、その都度の共有 ・定期的な個人面談実施 ・月1回の面談や、いつでも話を聞いてくれる環境を整えている	・意見に対しての進捗を発表する機会があればいいのかな？と思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		・よく分からないのでいいえと回答しました	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・講習会のお知らせが貼られているところ ・ST講師による研修やOJT ・研修の声かけや、提示		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2		・質問6と同じ回答です	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・NCや感覚統合など評価する視点を使用している。	・客観的評価は難しいのですが。。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・職員間でも支援の様子を共有して、作成の際の情報共有を行なっている。 ・いつも、支援する側の意見を聞き取り入れてくれている	・質問6と同じ回答 ・支援計画の	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	・支援前に目標の確認をしている。	・質問6と同じ回答	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	・前回担当した職員からの情報共有等		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・内容や場所など、職員同士で相談しながら活動決めを行なっている。	・もう少し事前に立案時間が必要な時もあります	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		・バラエティに富んだプログラムも良いが固定化されているものがあったても良いのではないかと思う	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0			